

平成30年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの

15校

平成29年8月

| 区分 | 大学名 | 学部・学科等名 | 入学定員 (人) | 位置 | 設置者 | 留意事項 | 備考 |
|----|---------------------|--|-------------|----------------------|-------------------------------|---|--|
| 公立 | 名古屋市立大学 | 総合生命理学部 総合生命理学科 | 40 | 愛知県名古屋市 | 公立大学法人 名古屋市立大学 | ・特になし。 | |
| 〃 | 島根県立大学 | 人間文化学部 保育教育学科 (3年次編入学定員) 地域文化学科 (3年次編入学定員) | 40 70 | 島根県松江市 | 公立大学法人 島根県立大学 | ・教員の補充を必要とされた4授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(保育教育学科) ・教員の補充を必要とされた13授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(地域文化学科) | 島根県立大学短期大学部 保育学科[定員減] 総合文化学科[定員減] 平成30年4月名称変更予定 看護学部→看護栄養学部 (△ 10) (△ 100) |
| 〃 | 山陽小野田市立 山口東京理科大学 | 薬学部 薬学科 | 120 | 山口県山陽小野田市 | 公立大学法人 山陽小野田市立 山口東京理科大学 | ・特になし。 | |
| 私立 | 北海道科学大学 | 薬学部 薬学科 | 180 | 北海道札幌市 | 学校法人 北海道科学大学 | ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (北海道科学大学短期大学部 自動車工学科) ・二以上の大学等を設置する学校法人が、一の大学等若しくは学部等を廃止して、一定の要件の下、当該学校法人が設置する他の大学等の学部等を設置する場合の特例に該当するため、審査基準上、設置経費が標準設置経費を下回っても差し支えないが、機械、器具等の整備にあたり教育研究に支障がないよう配慮すること。 ・二以上の大学等を設置する学校法人が、一の大学等若しくは学部等を廃止して、一定の要件の下、当該学校法人が設置する他の大学等の学部等を設置する場合の特例を適用することから、北海道薬科大学及び北海道薬科大学大学院については、計画どおり廃止すること。 | 北海道薬科大学(廃止) 薬学部 薬学科 ※平成30年4月学生募集停止 (△ 210) |
| 〃 | 常磐大学 | 看護学部 看護学科 | 80 | 茨城県水戸市 茨城県東茨城郡茨城町 | 学校法人 常磐大学 | ・講義、演習及び実習全ての科目について、成人と高齢者が同じ科目で教育されることとなっているが、健康レベル別の看護だけではなく、成人期及び老年期の特徴やその時期に必要な看護についての内容も充実するよう努めること。 | |

| 区分 | 大 学 名 | 学部・学科等名 | 入 学 定 員 (人) | 位 置 | 設 置 者 | 留 意 事 項 | 備 考 |
|----|----------|---|-------------------|-------|------------------|---|--|
| | (常磐大学) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の補充を必要とされた11授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (常磐大学 総合政策学部法律行政学科、総合政策学科) ・事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。 ・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 | |
| 私立 | 国際医療福祉大学 | 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科 医療マネジメント学科 | 60 60 | 東京都港区 | 学校法人 国際医療福祉大学 | <ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習は観察学習や見学を行うこととしている一方で、実習内容では、「きびきびとした動作で仕事ができる」ことや、「ゆっくりと、大きな声でいねいに説明できる」ことなど、作業実習を行うように見受けられることから、整合性が取れていない。また、各領域の実習科目の内容について、対象実習施設以外はほぼ同様の記載であり、各領域の実習科目の具体的な内容が学生にとって分かりにくい。以上の点から、各領域の実習の内容の違いや、実習で「見学」に重きを置くのであればそのことを、実習要項及びシラバス等で明確に示すこと。(心理学科) ・心理学に関する演習(入門・初級・中級・上級)のうち入門・初級について、内容が「心理学」の演習であるのか明確ではないため、心理学で求められる統計調査等、心理学に関する内容を行うことで専門基礎科目としてふさわしい内容となるようシラバスを修正すること。(心理学科) ・「医療福祉施設実習要項」を作成しているが、スケジュールや指導体制、評価方法について未だ具体的ではないため、8単位の实習科目としての事前事後学習と実習の時間配分を含めたスケジュールを明確に示し、病院実習指導者と実習指導教員がどのように連携を図りどのように課題到達目標から評価までを一体的に行っていくのか、成績評価の具体的方法についての記載を追加し要項を適切に改めること。(医療マネジメント学科) ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 | 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科[定員減] (△ 20) |

| 区分 | 大学名 | 学部・学科等名 | 入学定員 (人) | 位置 | 設置者 | 留意事項 | 備考 |
|----|---------|------------------------------------|-------------|-------------------|----------------|--|--|
| 私立 | 東都医療大学 | 管理栄養学部 管理栄養学科 | 80 | 埼玉県深谷市 | 学校法人 青淵学園 | ・教員の補充を必要とされた1授業科目については、開設時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 | |
| 〃 | 和洋女子大学 | 看護学部 看護学科 | 100 | 千葉県市川市 | 学校法人 和洋学園 | ・保健師課程を希望する学生に対して、履修指導において保健師に係る人材需要や地域の実情等をしっかりと説明すること。 | 平成30年4月名称変更予定 人文学群→人文学部 国際学類→国際学科 日本文学文化学類→日本文学文化学科 心理学類→心理学科 こども発達学類→こども発達学科 家政学群→家政学部 服飾造形学類→服飾造形学科 健康栄養学類→健康栄養学科 家政福祉学類→家政福祉学科 |
| 〃 | 駒沢女子大学 | 看護学部 看護学科 | 80 | 東京都稲城市 | 学校法人 駒澤学園 | ・保健師教育課程を希望する学生に対する履修指導については、学生に不利益が生じないように履修指導（履修科目や選抜方法の説明）を早期（入学時点等）に行うよう努めること。 | |
| 〃 | 創価大学 | 通信教育部 文学部 人間学科 (3年次編入学定員) | 750 100 | 東京都八王子市 | 学校法人 創価大学 | ・特になし。 | 平成30年4月名称変更予定 創価女子短期大学 現代ビジネス学科→国際ビジネス学科 |
| 〃 | 名古屋学芸大学 | 看護学部 看護学科 | 100 | 愛知県名古屋市 愛知県日進市 | 学校法人 中西学園 | ・特になし。 | メディア造形学部 ファッション造形学科[定員減] (△ 10) 平成30年4月名称変更予定 名古屋外国語大学 現代国際学部 国際ビジネス学科→グローバルビジネス学科 |
| 〃 | 関西医科大学 | 看護学部 看護学科 | 100 | 大阪府枚方市 | 学校法人 関西医科大学 | ・助産の実習と講義が重複しており、また、同時に設置する大学院の教育研究指導も必要となる中、3名の専任教員により最大5か所で開催される実習が適切に運営されるか疑問があるため、個別の教員の担当を明示した上で、計画の着実な実行に努めること。 ・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。 ・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。 | |

| 区分 | 大学名 | 学部・学科等名 | 入学定員 (人) | 位置 | 設置者 | 留意事項 | 備考 |
|----|----------|--|----------------|-------------------|----------------|---|---|
| | (関西医科大学) | | | | | ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 | |
| 私立 | 広島文化学園大学 | 人間健康学部 スポーツ健康福祉学科 (2年次編入学定員) (3年次編入学定員) | 120 5 10 | 広島県呉市 広島県安芸郡坂町 | 学校法人 広島文化学園 | ・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。 | 社会情報学部（廃止） グローバルビジネス学科 (2年次編入学定員) (3年次編入学定員) 健康福祉学科 (3年次編入学定員) ※平成30年4月学生募集停止 (2年次編入学定員は平成31年4月学生募集停止) (3年次編入学定員は平成32年4月学生募集停止) |
| " | 九州産業大学 | 人間科学部 臨床心理学科 子ども教育学科 スポーツ健康科学科 | 70 80 80 | 福岡県福岡市 | 学校法人 中村産業学園 | ・ディプロマ・ポリシーで示された「特別な支援を必要とする子どもに専門的援助ができる。」については、特別支援学校教諭一種免許状を取得しないことがあるにもかかわらず、当該免許状を有することを想起させることから、学生等にPRを行う際は、誤解を招かないよう十分に努めること。(子ども教育学科) ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (九州産業大学 芸術学部生活環境デザイン学科、ソーシャルデザイン学科) | |

| 区分 | 大 学 名 | 学部・学科等名 | 入 学 定 員 (人) | 位 置 | 設 置 者 | 留 意 事 項 | 備 考 | |
|----|-------|---------------------------------------|-------------------|--|-------------------------------|---|-----|--|
| 私立 | 西九州大学 | 看護学部 看護学科 | 90 | 佐賀県小城市 | 学校法人 永原学園 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (西九州大学 健康福祉学部社会福祉学科) ・認可後に補助金(小城市、佐賀県、国土交通省)が収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。 | | |
| 計 | 15校 | (2年次編入学定員) (3年次編入学定員) 15学部 19学科 | 5 117 2,300 | 認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況 | | | | |
| | | | | (2年次編入学定員) (3年次編入学定員) 大 学 短 期 大 学 | △ 5 △ 10 △ 360 △ 110 | (通信教育課程△2,000含む) | | |

(注) 「備考」欄の()書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

2 短期大学の学科を設置するもの 3校

| 区分 | 大学名 | 学部・学科等名 | 入学定員(人) | 位置 | 設置者 | 留意事項 | 備考 |
|----|--------------|----------|---------|--------|----------------|---|--|
| 私立 | 金沢学院短期大学 | 幼児教育学科 | 50 | 石川県金沢市 | 学校法人 金沢学院大学 | <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス等の表記に不正確な箇所があるため、正確な表記に修正すること。その際、専門的な見地から十分に確認すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・新設学科において、確実に学生を確保できるよう、戦略的に取り組むこと。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢学院短期大学 現代教養学科) | 現代教養学科[定員減] (△ 50) |
| " | 愛知みずほ大学短期大学部 | 現代幼児教育学科 | 50 | 愛知県名古屋 | 学校法人 瀬木学園 | <ul style="list-style-type: none"> ・兼任教員が担当する「保育原理」、「子どもの保健Ⅰ（保健・保育的アプローチ）」及び「保育内容総論」については、教育課程上重要な科目と考えられることから、専門的知識のある教員を専任として確保できるよう努めること。 ・教員の補充を必要とされた3授業科目については、開設時又は科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 | 生活学科 子ども生活専攻（廃止） ※平成30年4月学生募集停止 平成30年4月名称変更予定 愛知みずほ大学短期大学部→愛知みずほ短期大学 |

| 区分 | 大 学 名 | 学部・学科等名 | 入 学 定 員 (人) | 位 置 | 設 置 者 | 留 意 事 項 | 備 考 |
|----|------------|---------|----------------|---------|--------------|--|-----|
| 私立 | 東大阪大学短期大学部 | 介護福祉学科 | 80 | 大阪府東大阪市 | 学校法人 村上学園 | <ul style="list-style-type: none"> ・留学生への対応として学修面、生活面等における多様なサポート体制を設ける計画となっているが、窓口や対応者が複数にわたることから、規程等を整備し、責任体制や情報共有が適切に行われるように適切な体制を構築すること。また、留学生の日本語能力の向上をどのように図るのかについても適切な学内体制の下で検討し、留学生支援の充実に努めること。 ・学生確保に関する取組みを確実に実行し定員を充足するよう工夫すること。その際、申請書に掲げられているとおり、「日本人学生と外国人留学生、各々半数程度ずつ」となるように留意すること。 ・留学生選抜入試について、自己推薦書と面接審査において、どのようにN2レベルと同等以上とみなすかを十分に検証し、日本語能力を的確に判定することができるように留意すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東大阪大学 こども学部アジアこども学科、東大阪大学短期大学部 実践食物学科、実践保育学科) | |
| 計 | 3 校 | 3 学科 | 180 | 短 期 大 学 | △ 90 | 認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況 | |

(注) 「備考」欄の () 書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

3 学部/学科を設置するもの 4校

| 区分 | 大学名 | 学部・学科等名 | 入学定員(人) | 位置 | 設置者 | 留意事項 | 備考 |
|----|--------|---|----------|--|----------------|--|--|
| 私立 | 東北学院大学 | 文学部 教育学科 | 50 | 宮城県仙台市 | 学校法人 東北学院 | ・特になし。 | 文学部 英文学科[定員減] (3年次編入学定員)[定員減] (△ 50) (△ 9) |
| 〃 | 大東文化大学 | スポーツ・健康科学部 看護学科 | 100 | 埼玉県東松山市 | 学校法人 大東文化学園 | ・特になし。 | |
| 〃 | 東京家政大学 | 看護学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 理学療法学専攻 | 40 40 | 埼玉県狭山市 | 学校法人 渡辺学園 | ・特になし。 | 平成30年4月名称変更予定 看護学部→健康科学部 |
| 〃 | 金沢学院大学 | 文学部 教育学科 (3年次編入学定員) | 100 5 | 石川県金沢市 | 学校法人 金沢学院大学 | ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・新設学科において、確実に学生を確保できるよう、戦略的に取り組むこと。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢学院短期大学 現代教養学科) | |
| 計 | 4校 | (3年次編入学定員) 4学部 4学科 | 5 330 | 認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況 (3年次編入学定員) (△ 9) 大学 (△ 50) | | | |

(注) 「備考」欄の()書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。